あかしあクラブ
お知らせ
12 月号
2020.12.1.

あかしあクラブでは、路上のフラワーポットを12月10日、ビオラとノースボールに植え替えます。四つ辻の花の基地で種から育てた１万ポットから450ポットを譲り受けました。11月から５月まで花を咲かせます。花がら摘み・徒長枝の切り戻し・追肥で長くたくさんの花が楽しめます。ビオラは霜にかぶっても咲き続ける冬苗の女王です。（写真は花の基地のビオラ）

新型コロナウイルスワクチン

1960年代後半のこと、家族ぐるみでおつきあいをしていたＳ氏のお嬢さんが、予防接種のあと発熱、種痘脳炎で幼い命を失った。その後、予防接種で死亡・後遺症が残った子どもの親達と政府との間で裁判（予防接種ワクチン禍事件）が長く続きました。日本国内で天然痘が撲滅されて長い年月が経過するのに、それでも、種痘の予防接種が必要なのだろうかとの問いかけでした。裁判が終わってからその記録を綴った書物をいただき読ませてもらった記憶があります。

さて、新型コロナウイルスのワクチンの接種がロシア・イギリス・アメリカで始まりました。日本でも来年半ばから接種が始まるという。いくつものチェック作業を省略したうえでの接種で、多くの専門家から、その安全性を疑問視する声が聞かれます。経済立て直し・オリンピック開催に迫られ、コロナ早期終息のための政治的接種となり過誤が起こらなければ良いがと心配です。

専門ではないが、ネットから得られるいくつかの予防接種・ワクチンの歴史の専門論文を読んでみた。戦後、GHQ の命令で厚生省主導の予防接種が始まり、多くの子ども達が結核・天然痘・ポリオ・百日咳などの流行性の病気から解放されました。しかし、その副作用で命を失う子ども達も僅かではあるが確実に存在しました。行政の「作為過誤（副作用覚悟の上でワクチン接種）」「不作為過誤（ワクチン接種を見送り感染症を黙認）」という両者のせめぎ合いのもと、多くの予防接種が試行錯誤を繰り返しています。現在では、行政による強制接種は避けられ、接種者の自己責任による接種となっているが、はたしてそれで良いのか……？

ワクチンは、多くの研究者と現場での接種実績の間で長期間にわたり試行錯誤を繰り返しながら研究開発が行われ、安全性が確かめられ世に出て行きます。開発されたばかりのワクチン接種が始まればコロナ禍は即座に解消されるというのは余りにも楽観的すぎます。

私自身も、生後５ヶ月で腸重積を患い手術をしたのが契機となり、その後、腸閉塞等の手術を繰り返すことになった。大量の輸血（当時は失業者が血を売って生活した売血の時代）が必要になったこともあり、高校時代は術後血清肝炎を患うとい二次的病のつらい経験をしました。ワクチン開発・接種は手順を踏んで取り組んでもらいたい。特に基礎疾患のある体力の無い高齢者への接種は、慎重になるべきではないだろうか。あるいは、新型コロナウイルス感染で重篤化しやすい高齢者にこそ、優先的に接種を推奨すべきなのだろうか……？ *(Y.o.)*

≪お知らせ≫

新型コロナウイルス感染予防のため、あかしあ台コミュニティハウスの利用制限が行われています。12 月 7 日（月）～2 月 28 日（金）貸室は中止。自治会窓口は、平日および土曜日：10 時～12 時・13 時～16 時、日曜日・祝日は休館となります。

≪定例活動≫あかしあクラブの各同好会・サークル活動

- ◇ 教養研修活動 ： **女声コーラス『ポッポあかしあ』**毎月 第２・第４木曜日（しばら活動休止）
- ◇ 社会奉仕活動 ： **ふき取り布つくり** 毎月 第３木曜日（しばらく活動休止）
- ◇ 教養研修活動 ： **ふれあい囲碁・将棋の会** 12 月～1 月（活動休止）
- ◇ 健康増進活動 ： **18練功** 毎月 第1・第3 月曜日 13 時～ （しばらく活動休止）
- ◇ 健康増進活動 ： **グラウンドゴルフ** 12 月 25 日（金）まで火・金で実施（1・2 月は休止）

≪活動報告≫

社会奉仕活動（清掃活動）12 月 3 日（水）9 時～　18 名で実施しました。

ウッディ・カルチャー地区グラウンド・ゴルフ大会

11 月 9 日（月）8 時 50 分～13 時　（於：駒ヶ谷運動公園）

秋晴れの中、93 名の参加で開催されました。あかしあ台参加者の成績は下記の通りです。

成績：前田恵子（2位）足立昌子（7位）中村美和子（9 位）長谷川拓三（4位）福西治作（5位）敬称略

あかしあクラブ秋のハイキング～有馬富士公園～

11 月 18 日（水）10 時新三田駅集合 14 時頃同駅解散

秋晴れの中、18 名の参加で和気藹々と散策を楽しみました。今年の紅葉は特筆すべき美しさでした。

市老連　喜びあいのつどい～中国スーパー雑伎団公演～

11 月 16 日（月）13 時 30 分開場　13 時開演　郷の音ホール　申し込み終了

あかしあ台から 24 名の参加がありました。

市老連第１０回創作作品展

開催日時場所　11 月 13 日（金）～11 月 17 日（火）

総合福祉センター多目的ホール

作品を出品していただいた方、ありがとうございました。：畑徹二（切り絵）・羽田英雄（葦ペン画）・羽田茂子（大人のぬり絵）・桝本公子（大人のぬり絵・陶芸）・大谷妙子（陶芸）・木原ミツ子（陶芸）・久保佳子（木彫）・松田矩子（手芸）・畑中和代（折り紙）・賛助出品（多田納寿美：大人の塗絵）敬称略

あかしあクラブ茶話会（講演）11 月 27 日（金）14 時～16 時コミュニティハウス

世界一幸せな国から世界一平和な国へ　～JICA シニアボランティアとしてブータン・コスタリカへ赴任して～　　講師：高橋正氏（１丁目在住）

数年前に幸福大国ブータンで 3 年間 JICA シニアボランティアとして大学講師を勤められた 1 丁目の高橋正さんに茶話会でお話を伺いました。高橋さんは、昨年、同じく JICA のシニアボランティアで世界一平和な国コスタリカへ赴任され、上下水道の技術指導をされ、コロナ禍の中でやむなく帰国されました。

今回、「世界一幸せな国から世界一平和な国へ」と題して、技術指導・自然豊かなグリーンツーリズムの国で手塚治虫の「火の鳥」のモデルになったケツアールの生息する国コスタリカのお話をお伺いしました。

ブータンもコスタリカも共に国民の幸福度の高い国とされていますが、共通するのは、宗教的背景・時間的余裕・「他人を責めない」姿勢、コスタリカの日常会話の中で挨拶のように多用される「Pure Vida（純粋な人生）」は、多くの意味を持つ万能の言葉で、このような「きれいごと」の言葉が通じるのも両国に共通すること（ブータンでは人を責めない国民性）のようです。二つの国での体験から、物事を判断するに当たって、「現実をこの目でしっかり見て、人間として当然の判断をする」「思い込みを捨てる」「疑問が生じたる必ず原典・基本根拠に当たる」、そして、今、地球は、限りなく小さくなっている、グローバル化は不可避、共通言語は英語といった、内容の濃いお話を熱く語っていただきました。

≪今後の予定≫

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、丘の上レストラン（キリン）・六甲パレスから多人数の受け入れはできないとのお断りの連絡がありました。あかしあ台自治会も、12 月 7 日より 2 月 22 日までコミュニティハウスの利用制限を決定、貸館業務を中止しています。12 月・1 月の多くの行事が中止になります。

◎まちなか花盛り運動（冬苗への植え替え作業）別紙参照

12 月 10 日（木）9 時～　あかしあ台コミュニティハウス　（暖かい作業用の服装でお出かけ下さい）

◎忘年ハイキング（キリンビール三田工場）中止します

◎あかしあクラブ新年会（六甲パレス）中止します

◎あかしあクラブ新春作品展　中止します

◎自治会どんど焼き　中止となりました

くれぐれもご自愛いただき、新型コロナウイルスに負けないようお過ごしください。